



【学校教育目標】 目的意識を持ち、主体的に学び、かかわり、活動する力の育成
～実態把握・ねらいの設定・振り返りを大切に～



7月は、「差別をなくす強調月間です」



人は、自分と違ったり、よくわからなかったりする相手のことを「こういう人だ」と決めつけてしまいがちです。実際に見ていないのに、聞いた噂をうのみにしてあたかも真実のように語りがちです。このような決めつけや思い込みは、たいていマイナスなイメージで相手を仲間はずれにしたり、無視したりしてしまうことがあります。もしかしたら、皆さんにも経験があることかもしれません。「自分たちと違うから」といった理由で差別することは絶対に許されません。差別をなくしていくために大切なのは、根拠のない偏見にとらわれず、一人一人の個性や価値観を認めて「その人自身」を知ろうとすることだと思えます。「ありのままの自分」を周りの人から認められる世の中になれば、素晴らしいですね。そんな優しい気持ちで満ちあふれた学校を目指したいです。先日の人権タイムでの「かつくん」の絵本の感想に、「まるには、まるのよさがあるし、しかくには、しかくなりよさがあることに気が付きました。」とありました。友だちを悪口で傷つけるのではなく、友だちのそれぞれのよさがみつけれたらいいですね。

1. 2年 遠足

一度洪水警報で遠足が延期になってしまった1, 2年生の落ち込みは立て直しに時間がかかる子どももいました。それ



くらい楽しみにしていたのです。それなのに、6月27日の前日も、私たちは明日遠足に行けるか、ずっと気をもんでいました。雨は降っていましたが、何とか警報も出ずに遠足決行!! 楽しみにしていた海遊館です。本当によかったです。満面の笑みで出発した子どもたちは、2年生のリーダーシップのもと、楽しい遠足になったと聞いています。みんな

お目当ての生き物に会えたかな? 楽しかったと元気に帰ってきてくれました。秋の遠足は、晴れたらいいね。

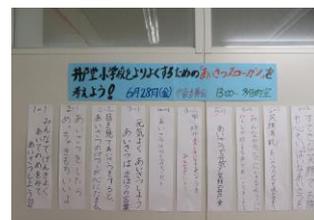


代表委員会

コロナ禍ではできなかった代表委員会。代表委員会は、3年以上の学級代表さんと、各委員会の代表



さんが集まって、学校をよくしていくために主体的な話し合いをする運営機関です。今回は、「あいさ



つ運動のスローガン」についてです。各学級で考えた素晴らしいスローガンが集まりました。いろいろな意見が

出され、学校としての意見をまとめていきます。初めてのことだったので、緊張感がすごかったようです。それだけ、一生懸命だった証拠ですね。これからも、代表委員会を活発にしていきたいと思っています。